

# クリティカルシンキング研修

## ～客観的思考～

対象者：一般職員～中堅職員

### 1. 研修の目的

考える力を養い、コミュニケーションや問題解決、判断する場面などで活用できるようにする。

### 2. 研修の構成

物事を『考える』際に、ロジカルシンキング（論理的思考）なのか、クリティカルシンキング（客観的思考）なのか、本来意識することはありません。基本的な考え方が備わった上であれば良いのですが、備わっていないと以下の事象が発生する可能性があります。

- (1) 偏った主観による論理でモノゴトを考察する
- (2) 結論に説得力がない
- (3) 目的の捉え方を誤る
- (4) 部分的な視点でモノゴトを考察する
- (5) 考えた際にその過程と結論を疑わない

そのため、ロジカルシンキングとクリティカルシンキングのノウハウを学び、モノゴトを正しい方法で最適なレベルまで考えることで、大きな成果を得ることができます。

### 3. 研修の進め方

- 午前がロジカルシンキング、午後がクリティカルシンキングに焦点を当てて参ります。
- 午前のロジカルシンキング研修では、論理的思考法を座学で学んでいただき、ケーススタディと合わせて取り組んで頂くことで、そのノウハウを習得していただきます。
- 午後のクリティカルシンキング研修では、特定のテーマについてグループワークで議論して頂きます。その際に、論理の誤りや偏った主観的要素などを講師から指摘されることで、思考の過程や結論を疑うことについて、その重要性を肌で感じて頂きます。その後、客観的思考法を座学にて学んでいただき、ケーススタディと合わせて取り組んで頂くことで、そのノウハウを習得していただきます。

### 3. 研修内容

時間	カリキュラム
9:00 12:00	<p><b>【ロジカルシンキング研修】</b></p> <p>研修の目的と全体像を共有</p> <p>1. 座学</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) なぜ、考える必要があるのか</li><li>2) ロジカルシンキングとクリティカルシンキングの違いとは何か</li><li>3) より正しく論理を展開する</li></ol> <ol style="list-style-type: none"><li>① 演繹法</li><li>② 帰納法</li></ol> <p>4) ケーススタディ ～論理の穴を見つける～</p>
13:00 16:30	<p><b>【クリティカルシンキング研修】</b></p> <p>1. グループワーク</p> <p>～テーマ～</p> <p>「報・連・相について、漏れる、正しく伝わらないなどの事象が多く発生しています。どうすれば報連相は機能しますか」</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) グループワークの進め方を説明</li><li>2) 全員で意見を洗い出し、付箋に記入</li><li>3) 模造紙に意見を貼り、グルーピングする</li><li>4) グルーピングされたカテゴリーを見ながら、問題の本質を皆で議論する</li><li>5) 問題の本質に対する対策を立案</li></ol> <p>2. 座学</p> <p>～思考プロセスと結論を疑い、客観的視点で相応のレベルまで考える～</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) ゴール(目的)は何か</li><li>2) 全体からみる(横の展開)</li><li>3) 深く掘る(縦の展開)</li><li>4) 客観的視点に立ち、思考の妥当性を検証する</li></ol> <p>3. ケーススタディ</p> <p>ケース1:「こどもが公園でけがをした!その原因は何か」</p> <p>ケース2:「業務の効率化を実施した。しかし成果が上がらない。何故だろう」</p> <p>4. まとめ</p>

閉講